

### MME キャンプ・イン・厚真 開催！

事務局 青柳

今年度のMME(マルチメディア・モバイル・エデュケーション)キャンプが、7月18、19日の両日、厚真のログハウスで開催されました。

昨年、初開催の勢いに乗って100名を超える参加者で支笏湖に乗り込み、楽しいながらも、あまりの買い出しの量と「どこまでの方が同じキャンプなの？」という状態になってしまったことの反省をかみしめて、今回は教育関係者を中心にこじんまりと、しかし熱く明日の教育を語る会にしよう、ということで、15名ほどの参加で行いました。

会場のログハウスは、武田先生のお友達の大工さん仲間が、数名で購入した厚真の別荘地に、自分たちで建てたものです。ここ数年はオーナーの皆さんが忙しくてほとんど利用していないとのことで、昨年秋に様似研究会の後に立ち寄ったときには、かなりの埃が溜まっていたのですが、6月の大成研究会後の掃除、そして当日の掃除で見違えるほどに生気を取り戻しました。

厚真といえば名物「あづま」ジンギスカン、地元のお店でビールと肉をたんまり買い込んで、夕方にはセッティング(炭火コンロ、網、取り囲む椅子、ターフなど)を済ませ、後は研究会の始まりを待つばかり(すいません私はこの頃到着しました!)。早速羊肉に箸を伸ばしながら、ビールを傾け、外にいるにはちょうど良い気温に風、尾崎先生、野口先生、由水先生の息子達と遊んでいるうち、とっぴりと日は暮れ、途中原稿締め切りを前日に終えてしまった荒島先生が帰り、入れ替わるようにお酒の飲めない半

にたいらげた我々は、ボーイスカウト副長・武田先生の指揮のもと、「来たときよりもきれいな状態で帰る」を実行し、またまた掃除を終えて帰路に着きました。



やっぱりバンジョー。フォークが目しみる。

で、札幌に着いて・・・あ、研究会するの忘れてた!

次回厚真キャンプは、今秋開催を企画しています。今度はちゃんと研究会しましょうね。でも、同じ日程のNCFせんべいキャンプも自然を楽しむ趣旨だったようですし、やっぱりキャンプはキャンプで満喫しましょうか。

(武田先生によると、ログハウスの共同オーナー募集中だそうです。詳細は [takeda@netfarm.ne.jp](mailto:takeda@netfarm.ne.jp) へ)

### こねっとプラン「初心者の先生のための マルチメディア活用研修会」開催

尾崎

去る7月27日、「マルチメディアには興味があるけれど...」と今まで最初の第一歩を踏み出せなかった先生方のために、NTTのこねっとプランのプロジェクトが中心となって全国85カ所の会場でE-Mail、インターネットなどの体験・実習が開催されました。

全国の会場をつなぎ、マルチメディアを教育現場でいかに活用するかというテーマを中心に、活用事例の紹介や、導入・運用・活用する際の問題点などについてのディスカッションが行なわれました。また、各地域会場で、E-Mail、インターネットやテレビ会議システムを体験する試みも併せて行われました。

< 基調講演 >

文部省メディア教育研究センター所長 坂元 先生

< 出演 >

富山大学教育学部助教授 堀田龍也 先生他、小・中・高等学校の先生方

< 実践事例報告 >

石川県七尾市立徳田小学校

広島県世羅町立津久志小学校

大阪府松原市立松原第三中学校

という内容で札幌ではかでの2・7、他に

旭川会場：NTT 旭川支店メディアプラザ

釧路会場：NTT 釧路支店メディアルーム

函館会場：マルチメディアプラザ SQUID



今回の会場。なかなか素敵でしょう。

沢先生が山盛りの差し入れビールと共に現れ、吉田編集長が暗がりのベランダでこけたと思ったら老酒のロックを飲み過ぎてログハウスの中へ消え、野口先生は子供達を連れてクワガタ採集隊で出かけ、ノコギリクワガタを取って子供達のヒーローになり、由水先生が巨大な蛾の哀愁についてうんちくをたっぷり語り始め、バンジョーとギターを生オケを子守歌に、いつしかみんなは眠りについたのでした。

翌日、尾崎先生特製のなべインスタントラーメン10食分を一気

室蘭会場：NTT 室蘭支店

の5会場に分散させて、全道で約200名の参加者で研修会を行うことができました。午前中から午後2時30分すぎまで基調講演や



実践紹介をする堀田先生。

事例報告、パネルディスカッションなどをTV会議システムのフェニックスを使って行いました。去年は午後から丸々、北海道会場独自に進め、パネルディスカッションも北海道のみで行いましたが、今年は、全国一斉のパネルで、他県の先生方の意見を聞くことになりましたが、フェニックスを見ることに疲れを感じられた参加者もいたようで、次回に向けて、検討が必要に感じられました。

札幌会場での地域別講習会は、「インターネットクイズ」でまず先生方の疲れた体をほぐそうという計らいでクイズ大会を行い、リラックスしたムードで進みました。

実技講習会は、希望者のみの参加ということでしたが、初心者向けのインターネット & 電子メール講座は約五十名、中・上級者向けのサーバ構築 & LAN ケーブル作成講座は十六名の参加でした。去年はもっと内容が盛りだくさんでしたが初心者の先生にはインターネット & メール講座が好評だったようです。

最後に室蘭会場とフェニックスをつなごうという案が出て、その後、電子メールでの交流を試みましたが時間切れで送受信までいけなかったのが残念でした。

こねっとプラン参加校の先生の感想から(北海道こねっとML



こちらはインターネット講習。

から抜粋しました。

初心者の方を対象としたセミナーでしたが、結構よかったか

な?と思っています。室蘭会場では、早速PCを購入したいのだけど、という方がおられました。メールってこうやるんだ、とか、インターネットって意外に簡単なんだね、など女性の方が、結構気に入ってやっていたね。

私も釧路会場で、1日お世話になりました。釧路会場は、30



サーバの実習。もうみんな真剣。

数名の参加者で、釧路管内のみならず、根室の方からも参加者があり、熱心に1日勉強していましたよ。行政も学校も急速にインターネット環境が出来上がりつつある現時点での今回の内容は、坂本先生の基調講演は良かったと思います。全国の実践も、石川県の実践などたいへん勉強になりました。北海道でも、もう少しするとまた前に戻って、こねっとプラン全参加校によるディスカッションが出ると良いですね・・。

旭川会場に参加させていただきました。こちら盛況で、セミナー室が満席、40名近くは参加していたと思います。旭川市も現在、市教委レベルで、全小中学校へのインターネット導入のあり方を検討しており、坂元先生のご講演はたいへん参考になりました。

実践発表やパネルでは、特に、というか、やはり、というか、インターネットは情報検索ツールとしてだけではなく、交流ツールとして非常に有効である、ということ再認識させてもらいました。道内レベルであれば、年に何回かは1カ所に集まってもいいかな、と思いますが、やはり全国レベルの発表会で、現地に集まることを考えれば、テレビ会議は最高の手段だと思います。

確かに、長時間はきついです、居ながらにして全国の先生方の発表が聞け、質疑までできるというのは、ありがたいことです。自分が小学生の頃に読んだ科学雑誌の世界が実現しています。

全国のNTTスタッフの皆さん、ありがとうございました。

ちなみにこの夜札幌市内の某スミレホテル屋上のピアガーデンでは、盛大に飲み会が開催されたらしいという情報が入りました。我がACE支部長武田先生や、半澤先生が、こねっと参加校やNTTの方々や夜遅くまで「マルチメディアを教育現場でいかに活用するか」というテーマで熱く語り合っていたようです。「玄武」でちゃんこ鍋をつつき日本酒を水のようにがばがば飲んでいる姿を見てあとから合流した参加者は恐怖を覚えたようです。詳細を報告したいのですが紙面の都合と記事を書いている者の記憶がないために今回はここまでとさせていただきます。(報告尾崎わはは)

## 熊本阿蘇へ行ってきま～す！

支部長 武田

「POEM'98 in ASO」は、8月6、7日の二日間、熊本県阿蘇で行われます。詳しくはwww.ace.or.jpをご覧ください。我が北海道支部からは、子供2名、学生5名を含む総勢19名が参加することになりました。当日会場では、道都大学マルチメディア部などの「それはPOEMから始まった～デジタル新聞の一年間の取組み～」と題して発表を行います。

一行は、5日の昼に飛行機にのり博多を経由して熊本へ。そこに一泊して、6日熊本城を見学して、JRののって阿蘇まで行きます。そこで一日目、NetDayに参加します。幹事会を経て各支部との情報交換会に参加します。6日9時半から受け付け、鈴木先生の講演を皆で聞いて、各分科会に参加。その夜は、しっかり懇親会です。8日は、朝、熊本を経て長崎まで行って、オランダ坂のホテルに泊まって、長崎は暑いぜ。9日は原爆記念日で記念館を見学します。10日朝長崎から博多を経て千歳まで帰ってきます。

尾崎先生は、なんと前日まで稚内北星短大の研修会に参加して、そのまま暑い九州まで直行です。見澤先生は研究会飛燕に参加してそのまま九州へ。まさし先生は、トンボ帰りで原稿書きです。学生諸君は、学生時代からいろいろな人と交流して、沢山のことを吸収してくることでしょう。子供はお腹出して寝て風邪をひかないようにね！

## スクールページコンテストのご案内

事務局吉田です。今年もスクールページコンテストの時期がやってきました。荒島先生が各MLにあげてくれたものを転載しますので、是非参考にしてください。

### 第3回「スクールページコンテスト」作品募集のお知らせ

今年もスクールページコンテストを行っています。応募作品は現在アップされているホームページでも可能です。

どうぞふるってご応募下さい。

スクールページコンテストの応募要項は以下の通りです。

#### <スクールページコンテスト応募要項>

募集対象：全国の小学生、中学生、高校生、学校単位の応募を原則としますが、複数校共同での応募、学校公認のサークルや生徒会で複数の応募も可とします。

募集部門：<自由テーマ部門>

- 1, 小学校クラス
- 2, 中学校クラス
- 3, 高等学校クラス
- 4, その他のクラス(特別部門)

1～3に該当しない作品や、海外からの応募、複数校共同での応募等は4のクラスに相当します。

募集作品およびテーマ：

応募作品のテーマは自由です。ただし、必ずテーマを設定し、テーマに沿った作品を応募していただきます。皆さんの自由な発想で自分たちのホームページを作成してください。(なお、昨年の受賞作品はスクールページ上でご覧いただけます。)

#### <チャレンジ部門>

1ページホームページ作品コンテスト(仮称)インターネットの初心者でも手軽に参加することが出来る部門として、1ページだけのホームページ作品を募集対象とします。チャレンジ部門には、クラス分けはありません。

自由なテーマ、自由な発想の作品、ユニークで個性的な作品等をお待ちしています。

1ページ=画面スクロール2画面分までとします。リンクページは含みません。

初心者のためのホームページづくりの手引き「カンタン・ホームページ」を差し上げております。事務局までお問い合わせください。

賞および賞品設定(予定)

#### <自由テーマ部門>

小学校クラス優秀賞	1作品/賞状、記念品、副賞
中学校クラス優秀賞	1作品/賞状、記念品、副賞
高等学校クラス優秀賞	1作品/賞状、記念品、副賞
その他のクラス優秀賞	1作品/賞状、記念品、副賞

その他のクラス優秀賞は審査委員特別賞に移行される場合があります。

#### <チャレンジ部門>

『1ページホームページ作品コンテスト』作品賞(仮称)  
複数作品/賞状、記念品、副賞

#### <部門を超えた賞>

文部大臣奨励賞	1作品/賞状、記念品、副賞
朝日新聞社賞	1作品/賞状、記念品、副賞
朝日学生新聞社賞	1作品/賞状、記念品、副賞
審査委員特別賞	

上記の賞以外に、審査員の強い推薦があった場合には特例として「審査員特別賞」を設けます。その場合の作品数は特に限定しません。

部門を問わず、全ての応募作品の中から選出されます。

応募方法：

作品の応募スクールページ上の応募フォームに必要な事項を記入の上、ご応募下さい。

サーバをお持ちでない方は事務局までご連絡下さい。

審査はネットワーク上で行います。

募集期間：

1998年6月～9月末日

上記以外の応募要項詳細をご覧になりたい方は、スクールページ上で詳細の参照ができますので、どうぞご参照下さい。

〒104 東京都中央区銀座2-14-5 第27中央ビル

スクールページコンテスト事務局

電話：03-3549-7376

FAX：03-5565-8520

電子メール：letter@schoolpage.mxd.meshnet.or.jp

スクールページURL：

<http://www.asahi.com/schoolpage/>

<http://mesh.asahi.com/schoolpage/>

皆様のご応募を心よりお待ちしております。

本メールと行き違いにご応募いただいた場合はご容赦下さい。

## 第4回あたらしいメディアの教育活用研究会のご案内

### - ぜんまい歯車プロジェクト - 「お父さん復権！！研修会」「子どもと共にチャレンジするキューブカート！！」

今まで3回の研修会を開催して参りましたが、夏休みにも研修会をということで8月22日(土)札幌市のネットワークプラザにおきまして上記研修会を開催いたします。

今回は、(株)鈴木教育ソフトの協力を得て、北海道内の教育関係者に呼びかけをして研究会を開催することにいたしました。多忙な時期ではありますが、多数参加くださいますようご案内申し上げます。

記

目的：

北海道において、インターネットなどの新しいメディアを教育に活用するために各地域の様々な活動団体や個人で活動をしている教育関係者の人的ネットワークをつくり、情報交換を行うとともに、技術的、教育的ないろいろな問題を解決することを目的とします。

今回は、普段多忙なお父さんが子どもたちと「物づくりを通してふれあい、父権の復活を目指す」ことを目的とします。

開催計画：

過去に3回研修会を開催しました。今回は4回目の研修会です。なお、今後、この研修に関する情報はheml(北海道の教育メーリングリスト)および、オンコの木のweb:<http://onko.ncf.or.jp>を通じてお知らせいたします。

日時：平成10年8月22日(土)9:30～16:30

会場：札幌市ネットワークプラザ

札幌市中央区北1条西3丁目第百生命ビル5F

電話 011-211-3435

内容：

- 「キューブカートの製作とトレースコースを使ったレース」
- ・光センサーをトランジスタを使って制御する仕組み
  - ・ギアボックスの仕組みと働き
  - ・キューブカートの製作
  - ・完成したキューブカートの調整
  - ・子どもたちによるトレースコースの作成
  - ・第1回キューブカートグランプリ
  - ・その他

持ち物：

はんだごて、+・-ドライバー、ニッパ、ラジオペンチ

主催：

こねっと・プラン北海道、ACE北海道支部、NCF98-21世紀教育ワーキンググループ

後援：(株)鈴木教育ソフト

講師：

(株)鈴木教育ソフト担当者、ACE北海道、NCF98教育ワーキンググループ参加者予定

参加費：1チーム1,000円

参加：定員は10組 申し込みは8月17日(月)までに下記連絡先まで申し込み下さい。親子、先生・生徒、お友達同士など。人数の制約はしませんが2名以上のチームで参加ください。

連絡先・申し込み先：

武田巨明(北星女子短期大学) <mailto:takeda@netfarm.ne.jp>

尾崎廉(札幌市立北野台中学校) <mailto:ozakiys@mb.infosnow.ne.jp>

まで連絡ください。

## 編集後記

嫌いだから嫌われるのか嫌われるから嫌いなのか、なかなかそこんとこの機微が難しいですね。(吉田)

荒島@札幌発寒中です。最近では情報教育より理科教育の方が忙しいです。しかし、お陰で浅川研究室の卒業生とも随分知り合いになりました。現在彼らをACE北海道の新入会員にすべく鋭意努力しています。#浅川先生よろしくね^^;さて、いよいよPOEMです。年に1回のACEのお祭りです。再会を楽しみにして旅支度を整えますか！(荒島)

いやー、あついですね。夏です。POEMの季節ですね。今年もつれてってもらいます。いかなきゃちょっぴりお金持ちなのに、自爆してます。お金がありません。「どこかに落ちてないかな？」と思う今日この頃です。失礼いたしました！！(半沢)

来週からポエムだ。何にも準備してないです。去年は忙しかったなー。暑かったなー。今年はずっと暑いんだろうなー。(青柳)

夏休みもここ2日で終わりあとは毎日修行続きの今日この頃ですが、とても勉強になっています。はたして稚内から熊本まで無事にたどり着けるのだろうか？(尾崎)

厚真MMEキャンプはとても静かな展開でした。火のまわりでギターをかき鳴らし、バンジョーを弾きまくるなんてことはなかったし、懐メロ歌うこともなく、人生について、教育について語ったような気がします。そうだね、高橋先生……。今年の夏は、やりかけになっているFreeBSDマシンのお世話をしなくてはと思いつつ、1日はあつという間に流れていく。さあ、熊本POEMだ！！(野口)

来週は夏休み先取りしてPOEM九州に行つて来ませう。10度以上の温度差越えての旅なので、周りからはまた倒れないかと心配されます。年に1度のPOEMですもん楽しんで勉強してきませう。(見澤)

キーワードは「地域」。地域が生活と教育の現場です。地域に教育力はありますか？健全育成推進協議会は無力ですか？PTAの役員はできれば避けたいですか？子供は学校に取られた人質ですか？先生は完全ですか？家庭は安全ですか？地域が好きですか？地域が人を育てます。地域が学校を包みます。学校が地域の学びのセンターです。新しいメディアで地域が再活性化を目指します。(武田)

教育とコンピュータ利用研究会 北海道支部

1998年7月30日発行